

質問者



藤川修次 議員

Q

放課後子どもプランと学童保育の連動で内容充実を

A

放課後子どもプラン検討の中で総合的に検討



放課後児童クラブ

問

文科・厚労両省は、来年度から全国の公立小学校で、放課後も児童を預かる「放課後子どもプラン」を発表した。このプランでは、全児童を対象とする時間帯と、その後の共働き家庭の概ね10歳未満の児童を対象にした時間帯の2本立てとなっている。スタッフは教員OBや地域住民で、勉強やスポーツ・遊び等のプログラムを用意する。とあるが、当町の運営方針と準備状況は。これまでの学童保育に対して要望されてきた課題を改善し、内容充実を求める。

答

赤星教育長

放課後子どもプランの事業計画、安全管理方針、地域ボランティアの人材確保など事業内容を検討する運営委員会を設置し、放課後児童クラブが果たしてきた良い機能や役割が損なわれることのないようにしたいと考えています。

放課後児童クラブの充実については、長期休暇中の終日保育の要望等があることは承知しており、人材確保の方策や内容充実に伴う一定の保護者負担の問題を含め、放課後子どもプランを検討していく中で、総合的に検討していきます。

問 安全・安心の町へ

東南海・南海沖地震の発生が懸念され、ライフライン施設・公共施設のハード・ソフト両面の対応状況を問う。  
①電気・都市ガス・水道・電話などライフラインの耐震強度と定期点検・維持補修状況は。  
②大規模地震発生時の保

安体制・対応マニュアルと、町・消防署との連携体制は。

③公共施設の耐震診断の計画は。

④幼・保・小・中での避難訓練・防災教育などの取り組み状況は。

答 地域防災計画作成中  
白石町長

①送電設備は平均風速40メートルに耐え震度6程度の耐震性です。都市ガス設備は震度7程度で、40ヶ月に1回のガス漏れ点検、年1回のガス遮断装置点検を行っています。水道管は震度4程度の耐震で、今後100ミリ以上の本管は阪神大震災クラスの地震に耐えるよう対応します。電話設備は、震度6では軽微な損傷を受けても容易に回復できるそうです。

②現在策定中の地域防災計画の中に、地震対策編を新たに策定して初動体制を確立し、避難・防災活動がスムーズにとれるよう位置づけられます。  
③学校施設の耐震診断が終わり次第、順次実施し

問 更なる情報提供・公開を

本年度から企画財政課・電算係を廃止した理由は何か。今後の情報化推進の体制は。  
IT化の推進で、例規集の公開、電子申請システムの運用など積極的に



答 機能強化のため統合  
中矢企画財政課長

全庁的な協議・調整、将来の町づくりを見据えた先進的な発想・企画力が必要となったため、重要施策の総合調整等を所管する、企画調整係と統合しIT化推進の機能強化を図りました。

ホームページでの情報公開について、議会議事録は、システムの可能なので議会で決定すれば対応します。審議会等は、会そのものの公開が前提になり、今後公開する場合はのあり方について検討していきます。  
庁舎以外での住民票等の交付は、費用対効果を考えると困難な状況です。